



\\ ここからはじめる！ //

化学物質管理

化学物質の適切な管理はなぜ必要？



学びポイント！



化学物質の適切な管理はなぜ必要なの？？

化学物質に起因した事故や健康被害、環境汚染の防止や予防ができるからです。



化学物質管理のために必要なことは何かしら？？

正しい情報を得ること、情報を理解すること、化学物質を適切に扱うことです。



過去にはありました・・・化学物質に起因した被害

大気汚染??

河川の魚が
大量死??

薬品で手に
やけど??

現在では

国・事業者・個人等が化学物質を適切に管理することによって化学物質に起因した

- ✓ 事故、事件
- ✓ 人への健康被害
- ✓ 環境への悪影響

等を予防しています。

国際的な気運が高まるキッカケがありました

地球サミット (1992年)



「アジェンダ21」

(持続可能な開発を実現するための行動計画)

化学物質に関連する内容として

- 化学物質の**有害性を分類する方法**
 - 分類結果を容易に理解できるシンボル等の**表示**
 - 化学物質の有害性や安全な取り扱い等の情報提供ができる**SDS** (安全データシート)
- の**世界的な統一**を実現する。

持続可能な開発に関する世界サミット (通称WSSD) (2002年)

「**化学物質管理に関する実施計画**」が含まれている

化学物質が人の健康と環境にもたらす著しい悪影響を**予防するための取組みによって**、影響を最小化する方法で使用、生産されることを2020年までに達成することを目指す。

「化学物質を適切に管理すること (=化学物質管理)」の重要性はすでに国際的に共有されています

今では化学物質管理への対応が 当たり前の時代になりました

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

「持続可能な開発目標（SDGs）」の合意（2015年）



3.9 2030年までに、有害な化学物質、並びに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。



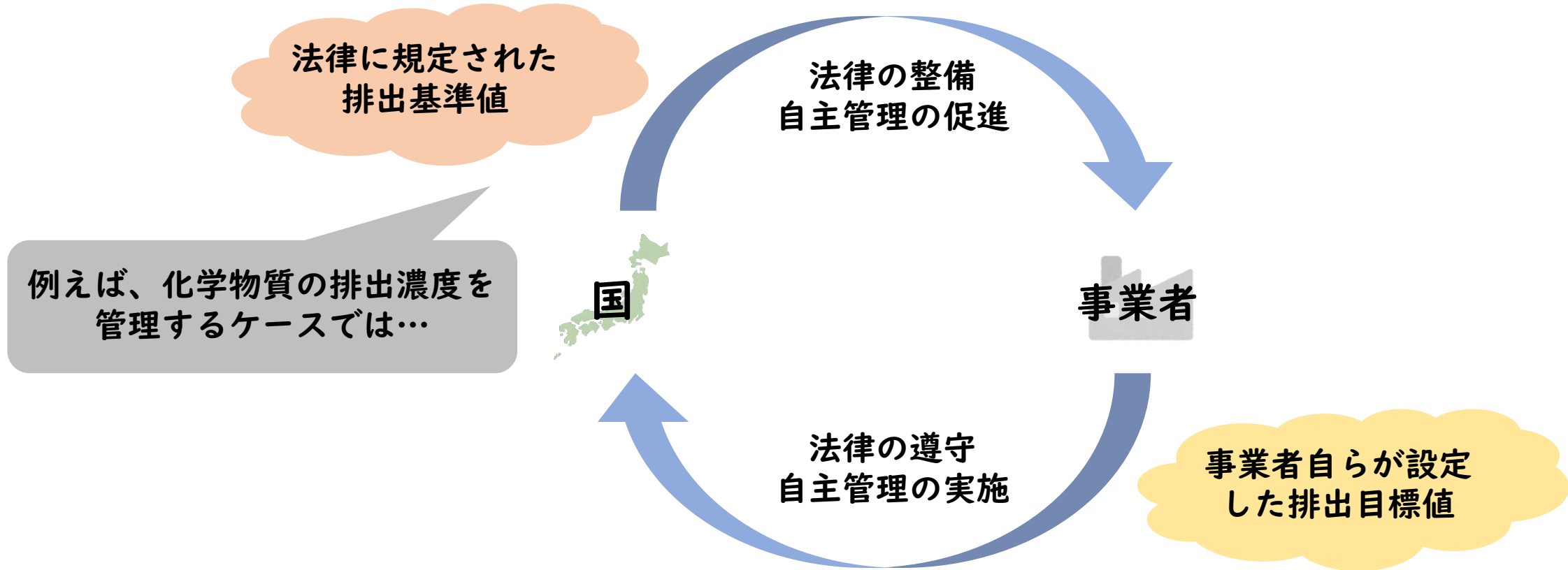
6.3 2030年までに、汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質や物質の放出の最小化、未処理の排水の割合半減及び再生利用と安全な再利用の世界的規模で大幅に増加させることにより、水質を改善する。



12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品のライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

化学物質管理の予防的取組みは
SDGsにおいても重視されています。

化学物質管理は規制と自主管理の両輪で行われています



法規制の遵守だけでなく、事業者による自主管理が実施され、
人への健康被害の防止や環境の保護が行われています。

日本における化学物質管理関連の法律

ばく露 有害性		労働環境	消費者	環境経由	排出・ストック汚染	廃棄
人の健康への影響	急性毒性	毒劇法		農薬取締法 化学物質審査規制法（化審法） 化学物質排出把握管理促進法（化管法）	大気汚染防止法 水質汚濁防止法 土壌汚染対策法 水銀汚染防止法	廃棄物処理法等
	長期毒性	労働安全衛生法	農薬取締法 食品衛生法 医薬品医療機器等法※ 家庭用品品質表示法 有害家庭用品規制法 建築基準法（シックハウス等）			
生活環境（動植物を含む）への影響						
オゾン層破壊性 地球温暖化				フロン排出抑制法 オゾン層保護法		

※医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律

【出典】NITE：我が国の主な化学物質に関する法律体系
<https://www.nite.go.jp/chem/hajimete/lawquery.html>

管理しているのに起きる化学物質の労働災害・環境被害



ボンベガス抜き作業中の
引火事故

新しい作業??

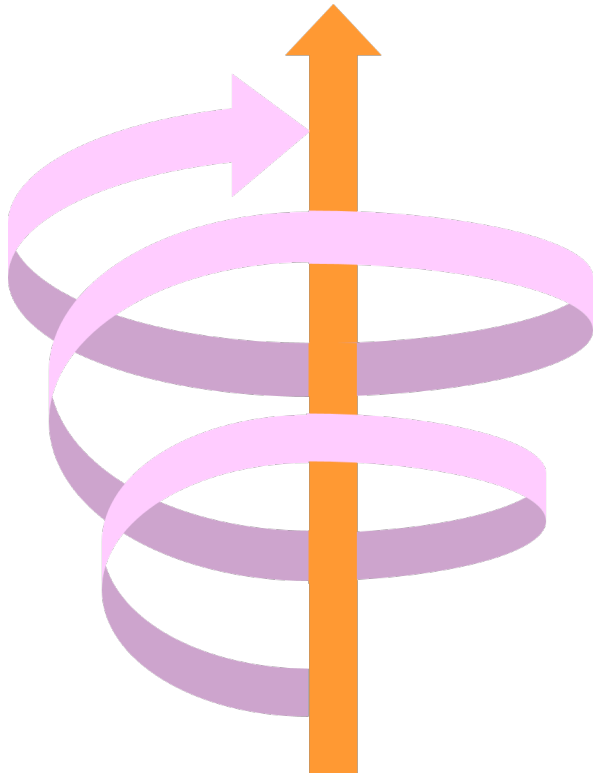
新しい物質??

洗浄工程で発生した中毒



新しい作業工程が加わる時や新しい物質を使用するときは
化学物質管理を見直して労働災害や環境被害の発生を防ぎます。

化学物質管理のサイクルを常に見直しましょう



1. 正しい情報を得て理解すること
2. 作業に落とし込んで適切な取扱いを実践すること
3. 受領者に必要な情報を伝えること
4. 使用者に適切な取扱い等を教育すること
5. 常に新しい情報に更新すること

確認してみましょう

この作業は化学物質
を扱っている？

扱っている化学物質は
どのようなもの？

この製品は
どんなふうに危険？

危険な製品の情報
は伝えられている？

製品を安全に使う
ためには何に注意
すれば良いの？





化学物質管理って
「人や環境に悪影響が起きないように
化学物質を扱うための取組み」のことなのね！

化学物質管理のいろはを学んでみよう

ここからはじめる！化学物質管理



\\ ここからはじめる！ \\
化学物質管理

<https://www.cerij.or.jp/chemical-management/>

化学物質の適切な管理はなぜ必要??

スライド	シナリオ
1	化学物質の適切な管理はなぜ必要なのでしょう?? それは、化学物質に起因した事故や健康被害、環境汚染の防止や予防ができるからです。 化学物質管理のために必要なことは何でしょう?? 正しい情報を得ること、情報を理解すること、化学物質を適切に扱うことです。
2	過去には化学物質を原因とする大気汚染や河川の魚の大量死、薬品によるやけどなどの被害が報告されたこともありましたが、しかし、今では国や事業者、個人が化学物質を適切に管理することによってこのような事故・事件、人への健康被害、環境への悪影響を予防しています。
3	そして、このような化学物質の適切な管理について国際的に実施しようとする気運が高まるキッカケとなったのが、地球サミットと WSSD です。これらのサミットで化学物質が人の健康と環境にもたらす悪影響を予防するための取り組みが合意され、化学物質管理の重要性はすでに国際的に共有されています。
4	そして、2015 年に合意された持続可能な開発目標、SDGs においても、有害な化学物質による死亡や疾病件数の減少が目指され、有害な化学物質の放出の最小化、排出の削減が明記されました。SDGs においても化学物質管理の予防的な取り組みが重視されており、今では化学物質管理への対応が当たり前の時代になりました。
5	化学物質管理への対応は法律による規制と自主管理の両輪で行われています。 例えば、化学物質の排出濃度を管理するというケースでは、法律による直接的な規制として、法律に規定された排出基準値が設定されており、事業者はそれを遵守します。また、自主的に事業者自らが排出目標値を設定してその目標を達成することで、管理されているケースもあります。 法規制の遵守だけでなく、事業者による自主管理が実施され、人への健康被害の防止や環境の保護が行われています。
6	では、日本では化学物質管理に関してどのような法律があるのでしょうか。 ここ示したのは、一般的な工業化学品における、ヒト健康への影響と、生活環境への影響や地球温暖化に関連する主な法律です。 これだけでも化学物質が様々な場面ごとに多くの法律で管理されており、事業者の対応が行われていることがわかります。
7	このように国や事業者等が管理を行っているにもかかわらず、いまだに化学物質の労働災害が起きています。環境への悪影響が報告されることもあります。 ここに示す例のように、新しい作業工程や新しい物質を使用することになったときは化学物質管理を見直して労働災害や環境被害の発生を防ぐことが重要です。

スライド	シナリオ
8	化学物質管理は、まず正しい情報を得て理解し、それぞれの作業に落とし込んで適切な取扱いを実践することが重要です。そして、受領者に必要な情報を伝えて、使用者には適切な取扱い等を教育することも大切です。 さらに、行政やメーカーから公表される最新情報を確認して、気を付けるべきことや正しい使い方に関して取り入れるべき情報を更新し、化学物質管理のサイクルを常に見直しましょう。
9	いま自分たちが行っている作業は化学物質を扱っているのか、扱っている化学物質はどのようなものか、扱っている製品はどのように危険なのか、危険な製品の情報は伝えられているか、製品を安全に使うためには何に注意すれば良いのか。確認しておきましょう。
10	化学物質管理とは「人や環境に悪影響が起きないように化学物質を扱うための取組み」のことです。 化学物質を適切に管理するために必要な情報を調べて、学べるお役立ちサイト、ここからはじめる化学物質管理、検索してご覧ください。